第 16 回フォトグラファーズ & フォトビジネスフェア

for PHOTON XT 2026

~いままでも、これからも~



ありがとう。

PHOTO**N=XT** は2025年に15周年を迎えました。 皆々様のご支援、ご協力に、心より感謝申し上げます。

これからも、皆様とともに、笑顔のフォトネクストでありますように…

SMILE ~ 笑顔と感謝~ 2026年6月16日以-17日因

パシフィコ横浜 B ホール

主催:株式会社プロメディア

主催団体:日本フォトイメージング協会

一般社団法人日本写真映像用品工業会









15 周年ありがとうございました

- ■「Wa~和to輪~」をテーマに開催したPHOTO**NEXT**2025。おかげさまで約1万人にお越しいただき、15周年も盛況となりました。厚く御礼申し上げます。
- ■「公式アンバサダーは「和」にちなんで、NPO法人和と人の交流ちとせ代表の鏑木志織さんに務めていただきました。鏑木さんは、日本文化の普及と可能性を追求されています。
- ■私たちは誇り高き精神を胸に、自らの意志と力によって未来を切り 拓き、変革の一歩を踏み出すことが必要です。日本刀にように鋭い輝きを持ち、私たちの内なる力を信じて行動することこそが、洗練された日本人精神の道につながるでしょう。

AIで何が変わる?

- ■20周年を見据えてゆく「PHOTO**NEXT**2026」は、新たに再出発の年にしたいと思います。フォトビジネスの現状に目を向けながら、常に前向きな想いとともに、20周年に向けた善き5年にしていきます。
- ■昨今、さまざまな業種で注目される「Al」。写真業界も例外ではありません。学習能力によりますます発達すると言われていますが、果たしてフォトビジネスにはどんな影響をもたらすのでしょうか。
- ■たとえば、「画像レタッチが格段に早く行えるようになった」「顔認識により、学校行事の写真スナップをより効果的に販売できるようになった」など、さまざまなメリットは挙げられますが、そこに目新しさは感じられますか?新しい付加価値として顧客に提供できる要素は含まれていると思いますか?
- ■約15年前、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、PHOTO NEXTでは「電子出版時代のフォトビジネス」をテーマに掲げ、関連企画を立てたことがありました。「静止画をタップしたら動画が再生される」時代に、今後、スタジオやフォトグラファー、写真専門家としてどのような撮影やプリントサービスを展開できるのか、と。
- ■今や画像がAIによって「生成」される時代。昔の写真が「こんなふうに動くのでは」という推察、そして今やそれがあたかも「本当にそうであったかのように」動き出します。しかし、仮想空間を創るテクノロジーは、フォトビジネスとしていかに成り立つのでしょうか。



- ■この時代、PHOTONEXTでは敢えて「AIにできないこと」を検証していきたいと思います。1つの仮説、それは「思い出や体験は生成できない」ということ。たとえば素敵なスタジオ空間、それを体験したときの「想い」や「感動」、家族や友達との思い出「大切な笑顔」、それらは、まさに「リアル」。その心情は「AI」では作れません。
- ■そのような、過去から今までに続く私たちにとって大切な想いをつなぐ「コア」なフォトビジネスとともに、前回から立ち上げた「フューネラル拡充計画」と、これまで提唱し続けてきた「カタチ(プリントに残す価値)」、に引き続き焦点を当てていきたいと思います。
- ■一方で、AIにも新たな発見があると確信しています。今後もAIが注目されるなか、AIにしかできない利点を取り入れたうえで、私たちは、敢えて本来のフォトビジネス、写真の本質である「プリント」につながる世界に注目していく所存です。

写真は何のために撮る?

- ■写真を撮る1番の目的は「平和な世界」を作るために、と考えます。
- ■撮る意味、それは記録、記憶を残したいから。私たちのこと、日本のこと、世界の友達に伝えたいから。そしてその風景、人物、すべてのもの、その写真でみんなが笑顔になると良いですよね。
- ■想像してみてください。部屋にたくさんの写真プリントが飾られていたら、どんな気分になりますか。その写真が、心に訴えてくる内容で構成されていることにより、私たちの心情も変化するでしょう。ものの見方や考え方が変わるかもしれません。そして、それにより生活が一層豊かになる可能性もあります。
- ■かけがえのない一瞬を笑顔と感謝で記録し カタチにして後世に残しましょう! AIではできない、感謝と笑顔で満たされた平和な世界になるように。
- ■私たち人間ができること、それは「笑うこと」と「感謝をすること」です。 笑顔は人を幸せにします。 感謝の気持ちが相手に伝わると、 みんなが嬉しくなります。 それは国境を越えます。
- ■そして世界に争いがなくなり、笑顔と感謝で満たされ、平和な世界になるように。「写真」を通じて、私たちができることをともに考え、学んでいきませんか。2025のテーマ「和(輪)」の意識を持ち、PHOTO NEXT2026へつなげていきましょう!

セミナー連動型企画ゾーン

新たな需要開拓は、セミナーと展示のセットで大々的に提案「これが観たかった」「知りたかった」に応える主催者コーナー



① Al ×フォトビジネスで 「日本人口倍増計画」決行!!

いま婚活写真が熱い!素敵な出会いを求める男女がこだわるハイクオリティ写真を提供するために、プロとして使いこなしたい AI テクノロジー。昨今の婚活プロフィール写真のニーズと、フォトグラファーの AI レタッチ活用の実態、求めるレベルなど、アンケート調査に基づき、それらを踏まえた体験コーナーを新設。便利な機能を、より効果的に使用することで、婚姻数の増加、少子化に歯止めをかける一大プロジェクト、いざ決行へ!



②フォトフューネラル 2026 撮影体験&参加型ステージ

終活にあたり、写真整理ができていないシニア層が多数存在するなか、写真のプロとして、そのサポートが急務。ハイクオリティに残すことの大切さを、いかにエンドユーザーへ伝えていくか。前回に引き続き、主催者企画として設けるフォトフューネラルゾーンでは、関連商品の展示にとどまらず、セミナープログラムを通じて具体策、ソリューション提案を実行。撮影デモンストレーションを含む来場者参加型ステージに、ぜひご注目を!

《人気イベント継続開催》

◎ 衣装展示即売コーナー

毎年大人気のアウトレットコーナーに併設。 拡販の場、掘り出し品をゲットできる場となります。

◎ 特設ギャラリー

業界団体コンテストから PHOTO**NEXT** でしか見られない展示企画まで。斬新なアイデアも随時募集中。

《公式 HP もリニューアル》

各社ブースやセミナー企画プログラムを順次アップ。 公式 LINE アカウントやインスタグラムをはじめ SNS での告知や、月刊誌「スタジオ NOW」にも掲載。 ブー ス出展との連動にもつなげられます。



2026 年も 横浜でお会いしましょう!

PHOTO **NEXT** 2026

フォトグラファーズ & フォトビジネスフェア

主催: 株式会社プロメディア 主催団体: 日本フォトイメージング協会

一般社団法人日本写真映像用品工業会

特別協賛:日本営業写真機材協会

各プログラムの詳細は、公式ホームページ(www.photonext.jp) 公式 LINE アカウント、インスタグラム、X(旧 Twitter)等で情報発信。 会期 1 ヵ月半前には「開催案内パンフレット」を 10 万部発行。 全国に向けて配送します!



2026 主要スケジュール

◎第1次申し込み締め切り:1月30日(金)

◎最終申し込み締め切り: 2月27日(金)

◎出展社説明会 / 小間割抽選会: 3月27日(金)

◎搬入日:6月15日(月)

◎会期:6月16日(火)~17日(水)

※締め切り日、説明会開催日程は変更になる場合があります。

- ・説明会および抽選会はオンライン (Zoom) で実施する予定です。
- ・出展に際しての詳細は「出展に関わる重要事項説明書」をご覧ください。
- ・主催団体会員は各団体からの案内をご確認ください。

最新情報はフォトネクスト通信誌「NEXT INFO」と公式 LINE アカウントで!

「NEXT INFO」は、PHOTONEXT 開催に向けてのビジョン、セミナーをはじめとするイベントプログラムの詳細、出展社イチオシ情報など、さまざまな内容をお届け。最新号は公式 LINE アカウント、インスタグラム、X(旧ツイッター)、フェイスブックにてお知らせいたします。バックナンバーは、公式ホームページよりダウンロードいただけます。公式 LINE アカウントは、QRコードより是非お友達登録してください。



主催者事務局 株式会社プロメディア

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 16-1 第 11 大協ビル 2F TEL 03-6302-0801 FAX 03-6302-0802 info@photonext.jp